

本が大好きな本屋による本のほなし

2016年4月号 Q&Aコーナーと春のブックガイド

と本屋

こんにちは！本屋です！！ 前回ご紹介しましたNUS（シンガポール国立大学）の日本語クラスの学生のみなさまから、本と本屋に関する質問がどしどし届きました！！というわけで今月号はさっそくQ&Aコーナーからまいります。縦横無尽な質問と、店長の(名?)回答の応酬がバツィ火花を散らしております。

◎本屋さんはどんな基準で本の品揃えを決めますか

→ テーマ、ふろく、著者など様々な要素から検討します。
「売れる」「売れそう」「売りたい！」という気持ちも大切です。
好きな本が売れると、とても嬉しいです。

◎シンガポールで日本語の本もよく売れていますか、それはなぜですか。

→ 日本はこれまで独自の文化を築いてきました。それが面白い、珍しいと、興味を持ってもらえることが、ひとつの要因だと思っています。

◎近年、e-bookの人気は上がりつつありますが、

この件について、どんな対策を取っていますか。

→ 電子書籍が割安で販売され、娯楽も多様化している中で本屋に足を運んでもらう楽しさを創造するために、品揃えを増やしたり、イベントを実施したりしています。

◎なぜ本は日本よりそんな高いんですか。

→ 送料をはじめとする様々なコストが日本国内よりかかることや、為替の影響で、値段が決まります。

◎きのくにやさんで働いているスタッフの制服のイメージは何でしょうか。

→ ずばり清潔感です！！ コーホレートカラーの紺色がイメージカラーです。

◎本屋で働くのは幸せですか？

→ 自分の好きなことを仕事にできる、とても幸せです！！！！

今月の店内イベント in リャンコート ～第3回ビブリオバトル～

本好きによる本好きのための知的書評バトル、その名も「ビブリオバトル」！ご好評につき第3回目を迎えることができました。持ち時間は5分、テーマに沿った本について自由に熱く語り、その後2分間の観客席からの質問タイム。参加者全員の発表と質問タイムが終わった後、どの本がいちばん読みたくなったかを1人1票、挙手で投票してもらおう、というルールです。初参戦の方も加わり、白熱した接戦でした！「春」というテーマで集まったタイトルは、桜田門外の変(上下)/吉村昭 著、「日銀貴族」が国を滅ぼす/上念司 著、春にして君を離れ/アガサクリステイ 著、INVASION PRAGUE 68 (写真集)、クーリエジャポン 2016年4月号(雑誌)、そして今回の優勝タイトルは、昭和16年夏の敗戦/猪瀬直樹 著の文庫本でした！

次回は、**4月23(土)午後3時より**バトル開始です！みなさまの観戦、お待ちしております！！



店長よりひとこと

回を重ねるにつれ、レベルが上がっていくビブリオバトル in シンガポール紀伊國屋書店…このまま進むとどうなってしまうのか、今回もわくわくしながら司会と観戦していました。ルールとは言え、勝者を決めるのがもったいないくらい、どの本も読みたくなりました。また積ん読が増える予感。

次回のテーマは「旅」です。シンプルなテーマなので、また一癖も二癖もある本が紹介されることと今から期待大です。本好きが集まる、ちょっと知的な遊び、誰でも大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております！

OUR RETAIL STORE

LIANG COURT STORE
#03-50 Liang Court
Tel: +65 6337-1300

SINGAPORE MAIN STORE
#04-20/20B/20C Ngee Ann City
Takashimaya Shopping Centre
Tel: +65 6737-5021

BUGIS JUNCTION STORE
#03-09 Bugis Junction
Tel: +65 6339-1790

JURONG STORE
#04-23 Jem
Tel: +65 6430-0868

*内容に関するお問合せは、
リャンコート店
河合(店長)・Yuki(和書課)
まで

BOOKS
Kinokuniya